

平針南学区連合自治会 駐車委員会



【平針南学区】

■世帯数：2,401 世帯

■人 口：5,976 人

■面 積：1,130k²m

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 県営平針住宅内の路上駐車問題の解決のため、県から団地棟間の土地を借り受け、全住民で測量・整備を行い、駐車場を確保した。その結果、路上駐車の大激減を実現したが、全住戸分の駐車場確保とはならず、その後も民有地及び市・県有地を借り有料駐車場（85 区画）を整備した。
- ・ 駐車委員会の活動は公安委員会からも認められ、車庫証明の発行や駐車場内の秩序維持・住環境の向上など住民とともに進めている。
- ・ 棟代表委員による「路上駐車一掃パトロール」を年 3 回 20 年間継続して実施している。県営平針住宅だけでなく、分譲住宅区域を含む学区全域をまわることもある。20 年間の参加者数は延べ約 2,000 人。

【アピールポイント】

自分の住む町を自らの手で安心安全な住みやすい所にするという意気込みと活動の継続。

2 きっかけ、背景

県営平針住宅では、高度経済成長による自動車の普及により、自動車を保有する世帯が増え、路上駐車による緊急車両の通行の妨げや交通事故の誘因など、住民の日常生活に深刻な問題となっていた。そうした中で昭和 55 年に平針住宅住民により平針住宅駐車委員会が組織され、駐車場の整備をはじめた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

1年間の運営メンバーは約100人。県営平針住宅の各棟より代表委員を49名選出し、委員長以下理事9人で組織

(2) 他団体との協力

青色回転灯車を使用してのパトロール活動

4 実施のスケジュール

毎月1回 定例理事会開催（状況に応じ臨時理事会開催）

毎年3月 定期総会と随時棟代表委員会

年3回 代表委員（駐車委員）と理事により区域内路上駐車一掃パトロール開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民の意識が高まり、路上駐車が減少するなど、住環境の向上につながっている。

(2) 苦労した点

当初は、住民の活動への理解を得ることに苦労したが、最近は慣れにより活動の本来の主旨が薄まっているところがある。

(3) 今後の課題・展望

理事の高齢化が進んでおり、活動の継続と担い手の世代交代が今後の課題。

(4) メッセージ・アドバイス

継続は力です。

